市長発言要旨

【回答事項】

① 今冬の豪雪に対する所感について

今冬の累計降雪量は706 c mであり、前年の347 c mを大きく上回りました。何日にもわたり降り続くことが多かったことから、市民の皆さんの体感としてもかなりの雪が降ったと感じられたことと思います。また、除雪の困難さも通常にはない厳しさがあったと感じています。被害についても、死亡はゼロでしたが、重症22名、軽傷1名の計23名であり、建物被害もあったものです。

除雪対策事業費については、約19億8千9百万円の予算でありましたが、歳入予算の特定財源については、国交省の補助金などにより約4億1千5百万円、また、一般財源については、特別交付税として約21億8千2百万円となりました（いずれも決算見込み額）。特別交付税のすべてが除雪に係るものではありませんが、財源についてはこのように確保できたということでもあります。また、令和6年度末財源調整基金残高については、3月補正（追加）後においては、約29億9千7百万円の見込みでしたが、最終的には約46億円まで回復したものであります。

2月の災害級の豪雪時には、市民の皆様から問い合わせも多数いただき、ご不便をおかけしたところもありましたが、大きな事故や極端な渋滞はなかったことから、除排雪業者の皆様との緊密な連携や地域の協力会による除排雪作業のおかげで、総じて除排雪は良くなったという声もいただいています。しかしながら、大雪が降った際、交通の混乱など市民生活に支障が生じたこともあったことから、引き続き除雪体制の見直しを図ってまいります。

次に農業被害ですが、深刻なのは果樹被害であり、被害面積は50 haを超える見込みであります。現地視察したところ、特にリンゴの被害が大きく、枝折れのほか幹の中核が裂けているような被害が出ており、3割から5割程度収量が減るといっていただいております。4月15日には私から県に対し、果樹被害への支援拡充を要望してまいりました。4月18日には県の追加支援の連絡もあったところで、農作業小等の復旧対策や畜産施設等災害対策など既存メニューへの追加のほか、新規の支援としては枝折れ被害に対する固定支柱等の購入支援や伐採・伐根に係る重機のリース代への支援などが示されました。県と市町村が協調しての支援ということですので、米沢市としては補正予算を検討し、農家の方々に寄り添った体制を作りたいと考えています。

② 水道メーターの盗難被害について

万世町金谷の倉庫に保管されていた取換え後の古い水道メーター約4千個の内、2,712個が盗難にあったことが4月2日に発覚しました。被害金額は約245万円であります。大事な資産が盗難被害にあったことを申し訳なく思っております。残りの水道メーターは現在、別の場所において保管しています。

今後の対応ですが、保管場所については、より安全な倉庫に保管をしたいと考えています。また、取換え後の水道メーターの処理について、これまでは一括して売却しておりましたが、年間複数回に分けて売却するなど検討しております。今後、同様の被害が起きないように、再発防止策をしっかりとっていきたいと考えております。